

“続ける” ことの大切さ

特定非営利活動法人サロン2002の広報誌『游 ASOBI』も第3号となりました。今回も toto の助成を受け、わたしたちの“志”である「スポーツを通してのゆたかなくらしづくり」を、誌面を通してお届けできることをうれしく思います。

2019年の公開シンポジウムは「ラグビーワールドカップ2019を語ろう！」でした。本誌には多くのページを割いて報告が掲載されています。この世界的イベントを改めて振り返るとともに、2020にやってくるオリンピック・パラリンピックをどのように迎え、次につなげるかを考える材料にいただければ幸いです。2020年秋には「スポーツとアート」をテーマにシンポジウムを計画中です。

この12月でサロン2002の「月例会」は通算280回となりました(pp.84-90)。1997年度からほぼ毎月続けてきた事業です。2001年度に始まる「公開シンポジウム」も22回開催しています(p.91)。いずれもNPO法人化前から続く、サロン2002の中核事業です。

加えて、2014年度の法人化以降に始めた事業も定着してきました。「U-18フットサルリーグチャンピオンズカップ」は地元のご支援とご協力をいただき、4回目を長野県千曲市で開催しました(pp.64-68)。2回目となる「Non-Borderポッチャ交流会」は、毎回150名もの多様な方々が集う一大イベントとなっています(pp.73-80)。「クーベルタン-嘉納ユースフォーラム」も、他団体との共催で2015年から毎年続けられています(pp.69-72)。いずれの事業も、時代のニーズを受け、理解者を増やししながら準備を重ね、“勢い”に乗ってスタートしたものです。

“始める”ことは重要ですが、いま考えているのは、始めたことをしっかりと“続ける”ことの大切さです。“勢い”だけでは続きません。ぶれることのない“理念”や“志”が不可欠です。そのうえで、一つひとつの事業に対して誠意をもって真摯に取り組むことを忘れてはいけません。「いつものようにやっていけば大丈夫」との考えから油断が生じ、大きな失敗につながったり、知らぬ間にマンネリ化に陥り、時代の流れや人々のニーズに追いつけなくなっていくかもしれません。

ぶれない“志”と、変えていく勇気をともに持ちながら、誠意をもって一つひとつの事業に取り組んでまいりたいと思います。

これからもよろしくお願ひします。そして、「スポーツを通してのゆたかなくらしづくり」という“志”に賛同していただけるなら、まずは「スポネットサロン2002」のメンバーになりませんか？

2020年3月

特定非営利活動法人サロン2002 理事長

中塚義実

